

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民が市政についてどのように考え、また何を望んでいるのかを統計的に把握するとともに、施策の評価や市政への関心・意識の程度を調査し、市政運営上の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の項目

調査項目は以下のとおりである。

調査事項	調査項目
回答者属性	性別、年齢、職業、家族構成、居住年数、居住地域、居住地区
宇都宮市に対する感じ方	宇都宮市の好き・嫌い、好きな理由、嫌いな理由
広報媒体の活用状況	「広報うつのみや」の入手方法、「広報うつのみや」で読んでいる記事、アプリを利用した動画視聴状況、市政情報の各広報媒体の視聴状況、ホームページを見るための主な手段、ホームページで知りたい情報はどこから探すか、ホームページで知りたい情報は探しやすいか、ホームページで充実してほしい情報や機能
特別支援教育	「発達障がい」、「特別支援教育」の認知度
市政情報コールセンターと「よくある質問」	コールセンターの認知度、コールセンターの利用状況、ホームページの「よくある質問」検索システムの認知度、ホームページの「よくある質問」の利用状況
男女共同参画	「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の認知度、生活の中で何を優先するか、配偶者等からの暴力を受けた経験、暴力を受けたときに誰かに相談したか
宇都宮市の景観	宇都宮市内で「景観」と聞いてイメージするもの、宇都宮市の景観は10年前と比べてどうなったと感じるか、宇都宮市内で「歴史を感じる魅力的な建物」は何か、「歴史を感じる魅力的な建物」の魅力PR方法
中央卸売市場の一般開放	中央卸売市場の一般開放の認知度、来場回数、市場に来場してどのように感じたか、一般開放に行かない理由、行ってみたい一般開放とは、市場開放の魅力向上のため今後必要なもの
市税クレジット納付	納税方法・場所、クレジットカードの利用状況、市税のクレジット納付を利用したいか
うつのみや産の農畜産物	「うつのみや産」の農畜産物の購入希望度、宇都宮の農業を大切にしたいか

調査事項	調査項目
住宅用火災警報器	「住宅用火災警報器」設置義務の認知度、「住宅用火災警報器または自動火災報知設備」の設置状況、「住宅用火災警報器等」を設置していない理由、「住宅用火災警報器等」の点検等実施状況
市民活動への参加意識	「市民活動」の参加状況、どのような良さがあるか、市民活動を活性化させるために整備すべきこと
生物多様性	「生物多様性」、「外来種が及ぼす影響」の認知度、どのような場所で自然に親しむ機会を得ているか
ごみの排出状況	リユースショップ（リサイクルショップ）やフリーマーケットの利用状況、利用しない理由、資源物の排出方法
中心市街地の活性化	中心市街地の利用頻度、出かける目的、中心市街地の魅力を高めるために充実して欲しいこと
社会総ぐるみによる人づくり	子どもとの関わり方、子どもの手本となることへの意識、手本となるべき大人に問題を感じているか
健康づくりの取り組み	健康を意識した運動の有無、運動を行うきっかけ、どのような環境があれば健康を意識した運動に取り組むか

3. 調査の設計

- 調査地域 宇都宮市全域
- 調査対象者 満 20 歳以上 80 歳未満の日本国籍を有する市民 4,800 人
- 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法 郵送法（回収にあたってはインターネットを併用）
- 調査期間 平成 28 年 7 月 29 日～8 月 12 日

4. 回収結果

調査対象数	有効回答数	有効回答率
4,800	2,470	51.5%

<性別・年齢別の回収状況>

年代	性別	調査対象数	郵送		インターネット		合計	
			回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率
20歳代	男性	331	59	17.8%	33	10.0%	92	27.8%
	女性	269	83	30.9%	29	10.8%	112	41.6%
	計	600	142	23.7%	62	10.3%	204	34.0%
30歳代	男性	484	110	22.7%	44	9.1%	154	31.8%
	女性	411	163	39.7%	34	8.3%	197	47.9%
	計	895	273	30.5%	78	8.7%	351	39.2%
40歳代	男性	524	130	24.8%	47	9.0%	177	33.8%
	女性	473	253	53.5%	40	8.5%	293	61.9%
	計	997	383	38.4%	87	8.7%	470	47.1%
50歳代	男性	376	133	35.4%	33	8.8%	166	44.1%
	女性	349	197	56.4%	18	5.2%	215	61.6%
	計	725	330	45.5%	51	7.0%	381	52.6%
60歳代	男性	462	259	56.1%	18	3.9%	277	60.0%
	女性	460	312	67.8%	14	3.0%	326	70.9%
	計	922	571	61.9%	32	3.5%	603	65.4%
70歳以上	男性	291	190	65.3%	3	1.0%	193	66.3%
	女性	370	251	67.8%	3	0.8%	254	68.6%
	計	661	441	66.7%	6	0.9%	447	67.6%
不明			14		0		14	
全体	男性	2,468	881	35.7%	178	7.2%	1,059	42.9%
	女性	2,332	1,259	54.0%	138	5.9%	1,397	59.9%
	不明		14		0		14	
合計		4,800	2,154	44.9%	316	6.6%	2,470	51.5%

5. 標本誤差

アンケート調査を行う場合、全母集団を対象とすることが望ましいが、実際には適切な数の標本を抽出して調査を行うことになる。そのため、アンケートの回答結果が、どの程度の精度を持った回答結果であるのかを検討することが必要となる。その精度は以下の式で表わされる標本誤差を算出することで把握できる。

通常のアンケートでは、信頼度として**95%**がとられるケースが多い。信頼度**95%**とは、100回に5回がその標本誤差の範囲におさまらないという意味である。

次の表は、本調査における信頼度**95%**の場合の標本早見表である。

回答の比率 (P) 回答数 (n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
2,470	±1.18%	±1.57%	±1.80%	±1.93%	±1.97%
2,400	±1.20%	±1.60%	±1.83%	±1.95%	±1.99%
2,000	±1.31%	±1.75%	±2.00%	±2.14%	±2.19%
1,600	±1.47%	±1.96%	±2.24%	±2.40%	±2.45%
1,200	±1.69%	±2.26%	±2.59%	±2.77%	±2.82%
800	±2.08%	±2.77%	±3.17%	±3.39%	±3.46%
400	±2.94%	±3.92%	±4.49%	±4.80%	±4.90%

< 標本誤差の算出方法 >

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

b : 標本誤差

N : 母集団数 (宇都宮市の20歳以上80歳未満人口)

n : 比率算出の基礎 (回答者数)

p : 回答の比率 (%)

1.96 : 信頼度95%の場合 (信頼度99%の場合は2.58を使用)

< 表の見方 >

この表の見方としては、例えば、回答者数が**2,470**で宇都宮市が「好き」との答えが**45.9%**であった場合、「その回答比率の誤差の範囲は最高でも**45.9%±1.97%**以内 (**43.93%~47.87%**) である」とみることができる。

6. 調査報告書の見方

- 集計値は、小数点第2位を四捨五入とする。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 回答比率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- 基数となるべき実数はnとして表示した。その比率は、件数を100.0%として算出した。